

こんにちは
日本共産党

市会議員
西野さち子です



日本共産党議会報告会を開催します！

- 11月17日(土) 午後7時～
パセオダイゴロー会議室
- 11月18日(日) 午後1時半～
いきいき市民活動センター



「消費税に頼らない別の道があります」 日本共産党演説会 開かれる

11月4日、日本共産党の議会報告演説会が開かれ、倉林明子参議院京都政委員、石村かず子衆議院京都3区代表が訴えました。

最後に訴えた西野さち子市議は10月26日に閉会した京都市議会の報告をしました。「京プランは4年間で25億円もの市民サービスを削る計画です。65歳以上の方の府市民税軽減制度を廃止して、3万6000人に6億5000万円の負担増。国民健康保険は4年間で67億円の赤字なのに値下げされない。その一方で20年間で560億円もの無駄使いです。さらに京都駅の地下に呼

11/4小栗栖小学校

穀田恵二衆議員の、「大企業は内部留保を持ちながら労働者の違法な首切りを行っている。赤字というが内部留保の1割を吐き出すだけで雇用は守れる。儲けに応じた税金を払う当たり前の制度にすれば消費税増税は必要ない。」と迫力ある訴えに、会場いっぱい参加者から拍手と笑いが起こりました。

「京プラン・実施計画」の撤回を！ 9月議会開会

び込もうとしているリニア新幹線は2200億円必要です。東京と京都を1時間で結ぶために、市民の命を削っていいのでしょうか」と訴えました。



今議会に提案された55議案に対し、日本共産党市会議員団は37議案に賛成し、18議案に反対しました。8月に消費税大増税と国の責任を投げ捨てる社会保障制度改革推進法が成立しました。副市長は「一体改革はようやくここまで来た。大きな流れとして歓迎したい」と答弁しました。今年3月に策定された「京プラン・実施計画」は、その社会保障制度改革をそのまま持ち込んで、市民生活を壊し自治体の役割を変質させるものだということを、日本共産党市会議員団は論戦を通じて明らかにしました。

▼意見書・決議では、「沖縄県での米軍人による女性暴行致傷事件に関する」決議などを全会派一致で、「衆議院の早期解散に関する決議」は民主・都みらい、京都が反対しましたが可決されました。党議員団が提案した「大飯原発の稼働停止を求める」意見書は、共産党以外の政党の反対で否決されました。

歳末特別生活資金貸付事業のお知らせ

- ・相談 12月10日(月)～14日(金)
お昼休み除く9時から15時まで
- ・貸付 12月26日(水)
- ・場所 醍醐総合庁舎内福祉事務所
- ・内容 世帯1人3万円を目安に1世帯15万円限度。ボーナス等臨時収入のある世帯や生活保護世帯等は受けられません。印鑑と保険証など住所と家族構成のわかるものが必要です。

10月29日の朝、京阪電車淀駅北改札口の開設式典が行われ、西野さち子市議が参加しました。京阪電車の踏切が立体交差化されて、渋滞が無く地域の皆さんが安全に通行できるように、今回の北改札口の開設でさらに便利になればと思います。

京阪淀駅北改札口開設

